

3 施策の展開

観光を担うのは地域であり、観光に限らず、多様な事業や活動を行う様々な主体が、あるべき地域の姿や目的意識を共有し、業種の枠を超えた連携を図りながら、地域づくりを進めていくことが重要となります。

観光を担う全ての担い手が、こうした地域を基軸とした視点を共有し、それぞれの役割を果たすことが求められます。

また、「観光立県かごしま」を実現するために、観光の担い手が一丸となって、1の「施策の体系」に基づいた施策を展開していくことが求められます。

具体的な施策の展開に当たっては、観光DX※¹の視点を取り込むとともに、SDGs※²（持続可能な開発目標）の理念及び17の目標を踏まえた実施に努めます。

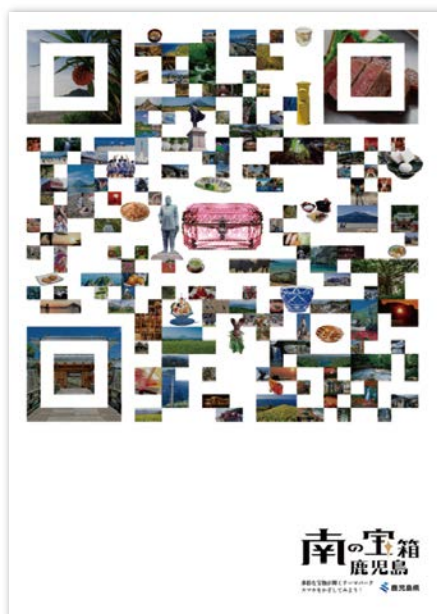
※1 観光DX：DXは「Digital Transformation」の略。デジタルを活用することにより、時間短縮や付加価値の向上を実現し、暮らしやしごとをより良いものにする。

※2 SDGs：「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略で、2030年までにさらに住みやすい世界を実現するための世界共通の目標として、国連に加盟するすべての国が採択した国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される。

1 国内外におけるプロモーションの展開

本県は、豊かな自然や多彩な食、個性ある歴史・文化などの「宝物」を数多く有しています。これらの宝物を探しに鹿児島を訪れ、手に取って体験してもらうため、本県の多彩な魅力について、県のキャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」を活用したプロモーションを展開します。

国内外に本県の多彩な魅力の情報を発信することで、本県の認知度の更なる向上を図るとともに、本県の一流の農林水産物や観光地としてのブランド力を向上させ、交流人口の拡大を図ります。



二次元コードを活用したPRポスター

① 「南の宝箱 鹿児島」を活用したプロモーションの展開

本県固有の食、温泉、自然、環境、歴史・文化、世界遺産等の多彩な魅力の掘り起こしを行うとともに、様々な切り口で国内外に「南の宝箱 鹿児島」として積極的に情報発信することで本県のイメージアップを図ります。

本県の多彩な魅力を認知してもらうために、ストーリーを伴った情報として発信することで、共感（態度変容）を獲得します。また、県産品の購入や本県への旅行（行動変容）を促し、鹿児島のコアなファンを増やし、選ばれる鹿児島県を目指します。

情報発信の実施後は、PDCAサイクルによる成果の検証などにより、適切なプロモーションの管理等を行います。



SNSによる情報発信



鹿児島県公式観光ガイド

施策の展開例

- 「南の宝箱 鹿児島」を活用した統一的な情報発信
- 個人客の増加に伴い多様化する観光客のニーズに応じた情報発信
- ストーリー性を伴った本県の魅力発信
- 観光客との間で継続的な信頼関係を築くための双方向の情報交流の推進
- 県全体を1つのテーマパークと捉えて、観光地やイベント等のコンテンツを時間軸、空間軸で一体的に集約したプラットフォームの構築・情報発信 など

② Web等を活用したプロモーションの展開

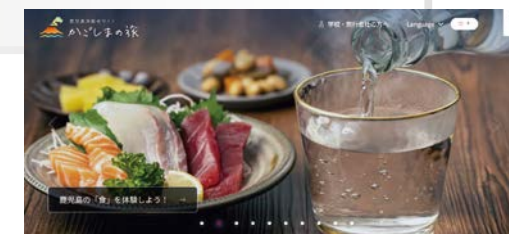
国内外における鹿児島の認知度向上を図るため、インターネットやSNS等を活用して、PR動画等を含めた情報発信を行い、特定の分野に興味・関心がある層も含め、データ分析に基づくプロモーションを展開します。

特に、海外向けには、外国人の目線に沿った情報発信を行います。

施策の展開例

- インターネットやSNS等を活用したPR動画等を含めた情報発信
- SNS等によるデータ分析に基づいた情報発信
- 特定の分野に興味・関心がある層を対象とした情報発信
- 多彩なイベントを活用したプロモーションの展開
- 国内在住の外国人による情報発信を通じた認知度向上 など

（関連のあるSDGsのゴール）



鹿児島県観光サイト

2 魅力ある癒やしの観光地の形成

競争力の高い魅力ある観光地の形成を図るため、地域ごとの特性を生かし、個性的で潤いのある街並み景観や沿道修景などハード面の整備を進めるとともに、地域の新たな観光資源の発掘に努め、自然や環境、人とのふれあい、健康や食をテーマとするツーリズム、農林水産業の着地型観光の促進などソフト面の取組と併せて、癒やしの観光地づくりを進めます。

また、観光関連産業の「稼ぐ力」の向上を図るため、本県の魅力的な観光資源を最大限に活用して観光地としての魅力を高めるとともに、観光地域づくり法人(DMO)等が中心となり、幅広い関係者が連携した観光地域づくりを推進します。

さらに、観光DXを推進し、観光関連産業の生産性向上等を図るとともに、官民一体となって観光地域の高付加価値化を促進します。これにより、収益力を高め、適正な対価を収受して収益を地域内で循環させ、従業者の待遇改善を図り、観光地の持続可能な発展を目指します。

あわせて、地球環境へ配慮した旅行を推進するとともに、自然や文化等の地域の観光資源の保全と観光とが両立し、地域住民にも配慮した持続可能な観光地域づくりを推進します。

1 地域の観光資源の保全、活用及び創出等

3つの世界遺産をはじめとする美しい豊かな自然環境や、奥深い歴史を物語る文化財などの多彩で魅力ある地域の観光資源の保全に取り組むとともに、地域の創意工夫を生かしながら、産・学・官の連携により、多様な観光ニーズに的確に対応した鹿児島県ならではの新しい旅行商品の創出と充実を図ります。

施策の展開例

- 地域の観光資源の魅力をつなぐ周遊型観光ルートの形成の促進
- 霧島国際音楽祭などの個性を生かした各種イベントの促進
- 3つの世界遺産(屋久島、奄美大島・徳之島の2つの世界自然遺産、「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産)の活用や保全を踏まえた取組の促進
- 国宝や日本遺産など歴史的遺産や文化等の観光資源としての更なる活用の促進
- 国立公園等の自然環境を持続的に活用するツアープログラムの開発促進
- 世界自然遺産奄美トレイル及び九州自然歩道等のロングトレイルを活用した「長く歩く旅」の推進
- 港を生かした観光地づくりの推進
- 夜間の時間帯を活用した観光メニューの開発促進
- 地域密着の多様なまちづくり・地域おこしの促進
- 本格焼酎や伝統的工芸品等を活用した体験型コンテンツの創出促進
- 文化・芸術施設(黎明館、霧島アートの森、奄美パーク)等の活用の促進



ケイピング(洞窟探検)

かつおわら焼きタタキ作り体験

焼酎トレイル

施策の展開例

- 観光資源(景勝地、史跡、観光施設、各種イベント等)の更なる磨き上げ
- 地域の伝統行事、イベント等を活用した地域住民と観光客との交流の創出
- 離島の魅力及び特性を生かした食や体験プログラムの開発などの着地型観光の促進
- 観光情報等を一元化したプラットフォームの活用による観光資源の連携の促進 など

2 地域の特性を生かした良質なサービスの提供の確保

観光業に加えて、商工業、農林水産業や製造業など多様な業種と地域住民などを含む幅広い関係者が密接に連携しながら、豊かな自然の恵みと先人達の知恵に育まれた魅力あふれる地元素材を積極的に活用したメニュー開発や特産品づくりなど良質なサービスの提供を促進します。

また、世界遺産や錦江湾、桜島、自然豊かな離島などの一流の景観、豊富な食材など地域の魅力的な観光資源を生かし、長期滞在も可能な世界に通用するリゾート地の形成を図ります。

施策の展開例

- 3つの世界遺産や錦江湾、桜島、自然豊かな離島などの一流の景観・豊富な食材を生かした長期滞在も可能な世界に通用するリゾート地の形成
- 生産者と観光関係事業者等が連携した地場農林水産物の活用の促進
- 安心・安全な「かごしまの食」の魅力づくり など

3 観光関係施設等の整備

観光客が訪問しやすく、ゆとりと潤いのある環境を整備するため、地域の特性を生かした個性的で潤いのある街並み景観の形成や沿道の整備等を推進するとともに、国内外を結ぶ交通ネットワークの形成促進を図ります。

施策の展開例

- 市街地環境、公園緑地、水辺環境等の整備など地域の特性を生かした個性的で潤いのある街並み景観等の形成の促進
- 外国人観光客等が楽しめる魅力ある観光地の整備促進
- 観光客の多様なニーズに対応した観光施設や宿泊施設の整備の促進
- 地域公共交通ネットワークの充実、高規格道路の整備や空港・港湾の機能向上など、国内外を結ぶ交通ネットワークの利便性向上 など

④ 持続可能な観光地域づくりの推進

観光関連産業の「稼ぐ力」の向上を図るため、観光地域づくり団体等のリーダーとなる人材育成や組織の強化に取り組むとともに、域内での資金の好循環を図るため、マイクロツーリズムを促進します。

また、県全体の観光振興を推進するためには、県全体の観光をリードする組織（県域DMO等）が必要であることから、地域の観光に携わる関係者間で合意形成を図りながら、本県における観光推進体制のあり方の検討を進めます。

さらに、観光DXを推進し、生産性の向上を図るとともに、地球環境への配慮や、地域における自然、文化の保全と観光の両立を図りながら、観光振興による地域経済の活性化及び地域社会に好循環を生む仕組みづくりを進めます。

施策の展開例

- 地域の多様な関係者が連携した「稼げる観光地域づくり」を推進するための組織づくり及び人材育成の支援
- 観光推進体制の見直し
- 域内での資金の好循環を図るためのマイクロツーリズムの促進
- 観光関連事業者の生産性の向上のためのデジタル化の推進
- サステナブルツーリズムの推進
- 自然環境との共生や多様なふれあいの推進
 - エコツーリズムの推進
 - 自然環境の保全と適正な利用の推進に向けた自然歩道等の整備・管理
 - 環境に対する意識やマナーの普及啓発 など
- 観光地における自然環境や野生生物の保護など環境保全活動の推進
- 保護区域や緩衝区域のゾーニングなど観光地としての適正な保全と活用の推進
- 自然公園等の保全・管理
- オーバーツーリズムを未然に防ぐ人数規制や利用分散の仕組みづくり
- 旅行者の責任ある行動の推進（レスポンスブルツーリズム等）
- 地域の自然・文化・暮らしの保全に貢献する旅行の推進（リジェネラティブツーリズム等） など



縄文杉



金作原



アマミノクロウサギ

⑤ 観光地域の高付加価値化

観光地域の高付加価値化を促進し、収益力・生産性の向上を通じて、設備投資の増加、従業員の待遇向上等の好循環を創出するとともに、消費単価が高い傾向にある旅行者を惹きつける観光地づくりを推進します。

施策の展開例

- 長期滞在や観光消費額の増加につながるようなコンテンツの造成
- 地域の魅力・価値等を向上させるための体験コンテンツの磨き上げなど、観光地の高付加価値化の取組の推進
- 地域の素材を繋ぎ合わせて、ストーリー化した旅行商品の造成、運営及び販売ができるコーディネーター人材の育成支援
- ハイブランドホテルの誘致等
- 高付加価値経営旅館等※の登録の促進
- 県産品の高付加価値化の促進
- ツアーガイドなど観光メニューの高付加価値化の促進 など

※高付加価値経営旅館

企業の経営として取り組むべき基本的な事項が実施され、かつ高付加価値化に資する発展的な取組事項が実施されていると認められる宿泊施設。登録規定に基づき、ガイドラインに則った経営を行う事業者を国が登録する。ガイドラインに定める取組事項の達成度合いに応じ、「高付加価値経営旅館等」と「準高付加価値経営旅館等」に分かれる。

【県内登録状況】高付加価値経営旅館等：21施設、準高付加価値経営旅館等：26施設 ※R6.12.31現在

⑥ 地域の特色を生かした多様な観光旅行分野の開拓等

四季折々の自然環境、世界遺産、歴史・文化、アニメ、宇宙など地域の特色ある観光資源を生かした着地型観光など、新たな分野の観光旅行を開拓・推進し、地域の人、生活・文化などとのふれあいを通じた多様な観光交流を促進します。

施策の展開例

- グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム、アドベンチャーツーリズム、エコツーリズム、ワーケーション、まち歩きなどの着地型・体験型観光や、デジタル技術と観光資源の融合等による新たな観光コンテンツやサービスの創出などのスマートツーリズムなどの新たな分野の観光旅行（ニューツーリズム）の推進
- ロケツーリズム、ファンツーリズム、酒蔵ツーリズム、サイクルツーリズム、インフラツーリズムなどテーマ別観光の推進 など



映画ロケ地



サイクルツーリズム



富裕層向け観光コンテンツ

⑦ 観光振興施策を実施するための財源に関する検討

観光振興施策を安定的かつ継続的に実施するため、必要性を含めた財源に関する検討に努めます。

（関連のあるSDGsのゴール）



3

戦略的な誘客の展開

メディアごとの特性を踏まえて、ターゲットに応じてマスメディア、インターネット、ソーシャルメディア等を適切に選択した情報発信や旅行エージェント（旅行業者）等への対応、一般社団法人九州観光機構等と連携した広域的な取組の推進などにより、「鹿児島」の知名度を高め、観光客の来訪を促進します。

また、多くの外国人観光客が直接、鹿児島を訪れられるよう、国際航空路線網の維持・拡充や新規路線の開設、定期便の就航を見据えた国際チャーター便の就航の促進を図るほか、各種誘客により外国人観光客の来訪を促進します。



海外旅行会社の招請



教育旅行相談会

1 観光客の来訪の促進等

個人客の一層の増加など、観光客の多種多様なニーズに対応した旅行商品の拡充、マーケティング等に基づきターゲットを明確化した先進的な技術の活用による情報発信、セールスプロモーション活動の充実により、観光客の来訪を促進します。

また、南九州3県をはじめ九州・沖縄各県との一層の連携を図るとともに、市町村の広域的な連携を促進します。

- 観光客の視点に立った観光情報等を一元化したプラットフォームの構築
- 旅行エージェント（旅行業者）、航空会社、鉄道会社等との連携による宣伝・誘致活動の推進
- 拠点地域発の広域観光周遊ルートづくりなどによる広域観光の推進
- 大都市圏等における観光物産展等の開催
- 関係人口（特に県人会や県出身者など）を活用したPR
- 本県を舞台とした映画・テレビ番組等を生かした誘客の促進
- 大阪・関西万博（令和7年）や西郷隆盛生誕200年・没後150年記念イベント（令和9年）等の多彩なイベントを活用した誘客の促進
- MICE※（国際会議等）の誘致と受入体制の整備の推進
- 環境教育や平和学習などに活用できる自然・歴史・文化等の資源を生かした県内外からの修学旅行を含む教育旅行の誘致の促進
- 一般社団法人九州観光機構や九州・沖縄各県、「明治日本の産業革命遺産」関係自治体等と連携した誘客活動の推進

など

施策の展開例

※ MICE：Meeting（会議・研修・セミナー）、Incentive tour（報奨・招待旅行）、Convention またはConference（大会・学会・国際会議）、Exhibition（展示会）の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一形態のこと。

2 マーケティングに基づく効果的な誘客

市場を意識したマーケティング戦略の観点から効果的な施策の展開を図るため、国の動向も見据えながら、観光統計調査等の整備・研究を進めます。

また、本県観光の動向や観光消費の実態、観光ニーズの把握・分析など、マーケティングの結果に基づいたプロモーション活動の展開により、本県の魅力を発信することで、国内外からの誘客促進を図ります。

施策の展開例

- 本県観光の動向や観光消費の実態、観光客のニーズの把握
- デジタルマーケティングの実施
- マーケティングの結果に基づいたプロモーション活動の展開
- 観光統計調査の整備・充実

など

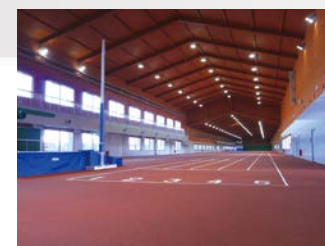
3 スポーツキャンプ等の誘致

本県の温暖な気候や先進的な研究機関の立地等を生かしたスポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致活動に取り組み、プロスポーツチーム等の振興を通じた交流人口の拡大を図ります。

施策の展開例

- スポーツキャンプ・合宿の誘致から歓迎まで関係機関が連携し官民一体となった取組の推進
- ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅を活用した、国内外からのスポーツ合宿受入れによる交流人口の拡大に向けた取組の推進
- 「薩摩おいどんリーグ」などの継続的なイベント支援を通じた地域活性化に向けた取組の推進
- 県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等の振興と交流の推進

など



ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅



プロスポーツへの支援



薩摩おいどんリーグ

4 外国人観光客の来訪の促進等

本県の歴史的、地理的な特性を生かし、経済成長が著しいアジア地域を中心とした直行便市場や直行便市場に次いで有望な戦略的市場など、海外からの誘客の強化を図るため、ターゲットとする市場に応じた誘客促進に向けた各種取組を推進します。

今後のインバウンド需要の本格的な回復を見据えて、消費額の増加及び地方への誘客をより重視する観点から、訪日旅行における消費単価が高い傾向にある旅行者の鹿児島への誘客を促進します。

また、南九州3県をはじめ九州・沖縄各県との一層連携した広域的な取組を促進します。

施策の展開例

- SNS等のメディアを活用した情報発信や、現地セールスや旅行エージェント（旅行業者）・メディア等の招請・訪日教育旅行の誘致など、ターゲットとする市場に応じた誘客の展開
 - 直行便市場（韓国、中国、台湾及び香港）での誘客対策の強化
 - 戦略的市場（タイ、シンガポール、ベトナム、欧米豪）での認知度向上
 - 他空港からの誘客に向けた旅行会社等の招請、旅行予約サイト（OTA）と連携したプロモーション
- 欧米豪市場への広域連携によるアプローチ
- 海外サポーター（県人会等）等を活用したPR
- 消費単価が高い傾向にある旅行者をはじめとする外国人観光客の来訪を促進するための受入環境の整備の推進
- 国際航空路線網の維持・拡充や新規路線の開設、定期便の就航を見据えた国際チャーター便の就航の促進 など

5 クルーズ船の誘致

本県の地理的優位性を生かし、クルーズ船の誘致活動を推進し、クルーズ船を通じた交流人口の拡大を図ります。

また、鹿児島発着等といった、本県への滞在時間が長くなるクルーズ船を誘致します。

あわせて、クルーズ船の経済波及効果を県内全体に波及させるため、県内の離島への寄港、従来の寄港地観光ツアーに加え、水上交通や新幹線を活かしたツアー造成に取り組み、観光関連産業の「稼ぐ力」の向上に努めます。

なお、クルーズ船の誘致に当たっては、地域の受入体制などを十分考慮し、市町村等と連携して取り組みます。

施策の展開例

- 鹿児島本土のみならず、澄み切った海などの豊かな自然、独自の伝統・文化など多くの魅力にあふれる離島も巡るクルーズ船の誘致促進
- 官民連携によるクルーズ船の受入環境・体制の整備
- 水上交通や新幹線を活かしたツアー造成などによる寄港地観光の広域化・高質化 など



マリンポートかごしま



手旗で見送り



クルーズ船と浮桟橋

6 マイクロツーリズムの促進

県民一人ひとりが鹿児島の自然や文化に親しみ、鹿児島ならではの魅力の再認識につなげるため、マイクロツーリズムを促進します。

また、マイクロツーリズムを通じて再認識した郷土の豊かな魅力を広く発信することにより、更なる誘客を促進します。

施策の展開例

- 県民一人ひとりが鹿児島の自然や文化に親しみ、鹿児島ならではの魅力の再認識につなげるためのマイクロツーリズムの促進
- マイクロツーリズムを通じて再認識した郷土の豊かな魅力を広く発信することによる、更なる誘客の促進 など

7 相互交流の促進

姉妹県盟約を結んでいる岐阜県や長年にわたり交流を続けている香港、シンガポール、韓国全北特別自治道、中国江蘇省、米国ジョージア州、英国自治体のほか、新たな交流先であるベトナム・ハイズオン省、台湾屏東県との相互交流の充実にに向けた取組を推進します。

施策の展開例

- 姉妹・友好交流等の促進
- 経済交流の促進
- 文化・スポーツ等の交流の促進
- 青少年交流の促進
- 相互の地における観光プロモーションの実施
- アジア地域との人的ネットワークの形成の促進
- 県内及び県域を越えた相互交流の促進
- 県民の観光旅行意欲の増進
- 県民のパスポート取得の促進
- 県内における修学旅行を含む教育旅行の促進 など

（関連のあるSDGsのゴール）



青少年交流



ベトナム・テトフェスタ



台湾屏東県とMOU締結

4 県民総ぐるみでのおもてなしの推進

本県を訪れる誰もが、安心・安全に快適な観光を満喫できるよう、親切で分かりやすい案内標識等の整備や情報提供、温かく迎え入れるホスピタリティ(心のこもったおもてなし)の向上など、観光客の受入体制の充実を図ります。

また、関係団体等との連携を図りながら、鹿児島島の魅力を語れる人材や観光ボランティアガイドなどの担い手の育成・確保を図ります。



枕崎観光ボランティアガイド



観光牛車

1 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備

年齢、障害の有無、国籍、宗教等の違いを越え、全ての観光客が快適な観光を満喫できるよう、観光客の受入環境の整備を推進します。

また、県内外の観光客の県内周遊を促進するため、MaaS※1等を活用した観光地へのアクセス向上を図るとともに、いつでもどこでも観光関連情報を得られる環境を整備し、観光客の利便性の向上を図ります。

- 観光関係施設等のバリアフリー化やユニバーサルツーリズム※2の促進
- 交通機関の接続の円滑化など観光客に配慮した取組の促進
- 公共交通機関の予約・決済サービスやデジタルチケット等を提供する九州MaaS※1の取組の促進
- 観光客への的確な情報提供と誰にでも分かりやすい案内標識等の整備の促進
- 無料公衆無線LAN(無料Wi-Fi)※3環境の整備の促進
- 主要な観光施設やホテルなどの観光関係施設におけるキャッシュレス決済の普及・啓発及び公共交通機関へのキャッシュレス決済の導入の促進
- 宿泊事業者における顧客予約管理システム(PMS)等の導入の促進
- 交通標識や案内標識、案内板などの多言語対応の促進
- 観光関係施設、ホテル、飲食店、医療機関等における多言語コールセンターの活用促進
- デジタル技術の活用による外国人観光客向けの情報提供の促進
- 外国人観光客向けボランティア通訳ガイドの育成の促進
- 通訳案内士(地域通訳案内士制度によるものを含む。)の育成の促進
- イスラム教徒に対応したムスリム・フレンドリー※4施設の整備の促進
- フードダイバーシティへの対応の推進
- 鹿児島空港や鹿児島港などのCIQ※5(税関、出入国審査及び検疫)体制の充実、強化の促進
- 免税店の更なる充実の促進

など



ユニバーサルツーリズムの普及・啓発



観光周遊バス



多言語コールセンター



九州マース

※1 MaaS(マース:Mobility as a Service):地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

※2 ユニバーサルツーリズム:すべての人が楽しめるよう創られ、高齢や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のこと。

※3 無料公衆無線LAN(無料Wi-Fi):無線LANを利用したインターネットへの接続を無料で提供するサービスのこと。

※4 ムスリム・フレンドリー:イスラム教徒の考え方に配慮し、食事や礼拝等の宗教的な要求を理解し、各々の施設が提供可能且つ適切なサービスでおもてなしすること。

※5 CIQ:税関(Customs)、出入国審査(Immigration)、検疫(Quarantine)を包括した略称であり、それぞれの英単語の頭文字からなる。

2 観光を担う人材の育成・確保

魅力ある観光地づくりを支える組織や人材の育成・確保等を促進し、観光客へのサービスの向上を図ります。

また、先進的な技術の活用による観光DXを推進し、観光客の利便性向上及び周遊促進、観光産業の生産性向上や観光地経営の高度化を促進します。

施策の展開例

- 地域をコーディネートする担い手育成の促進
- 観光ボランティアガイドの組織化と研修の促進
- 若年者の県内就職や外国人材の受入れを含めた観光従事者確保に向けた取組の促進
- 観光関係事業者等の資質向上に向けた取組の促進
- 観光関連事業者に対するデジタル化、業務効率化のためのソフトウェア等の導入の促進
- DX人材育成のための従業員研修の実施への支援
- 宿泊事業者における顧客予約管理システム(PMS)等の導入の促進(再掲)
- 外国人観光客向けボランティア通訳ガイドの育成の促進(再掲)
- 通訳案内士(地域通訳案内士制度によるものを含む。)の育成の促進(再掲)
- 歴史ガイド・エコツアーガイド育成等の促進

など

3 啓発・学習の推進

県民一人ひとりが、自らの地域に誇りと愛着を持ち、観光への理解を深め、おもてなしの心を育み、県民総ぐるみで観光客を温かく迎える観光地づくりを推進します。

施策の展開例

- 観光の重要性や観光振興に関する県民の役割等の普及啓発
- 郷土の歴史、伝統、文化、自然環境等をテーマとした学習機会の充実
- 地域における魅力ある観光地づくりに向けた取組の促進

など



④ 観光旅行の安全の確保

地域における防犯力・防災力を高める取組等を推進するとともに、自然災害や感染症など、観光関連産業を取り巻く様々なリスクに対応するため、緊急時の観光客等への情報提供など、観光客等の安全を確保するまちづくりを進めます。

施策の展開例

- 安全・安心なまちづくりの推進
- 交通安全キャンペーンの実施
- 災害時や感染症発生時の観光客への情報提供 など

(関連のあるSDGsのゴール)



1

推進体制

「観光立県かごしま」の実現には、県、市町村、県民、観光関係事業者及び観光関係団体がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携し、様々な取組や活動に努めていくことが重要であり、地域においても、多様な業種との連携の下、ネットワークづくりを進め、幅広い産業や住民が一体となって、地域の特性を生かした魅力ある観光地づくりを進めることが必要です。

また、県、市町村などの区域にとらわれず、観光客の動態や観光資源の特性を踏まえた共通のテーマ性を有し、一定の広がりを持ったエリアにおいて、それぞれの関係者が一体となって取り組む広域的な連携を強化していくことが必要です。

このため、県としては、基本方針の趣旨や内容の周知を行うことにより、地域における主体的な取組や他の地域と連携した広域的な取組が展開されるよう努めるとともに、条例に基づく「鹿児島県観光立県推進会議」において、観光に関して優れた識見を有する各委員の意見等を踏まえながら、市町村、県民、観光関係事業者及び観光関係団体と一体となった取組を進め、基本方針に基づく施策を総合的かつ計画的に推進します。

(参考)「鹿児島県観光立県推進会議」(条例の関係条文抜粋)

第21条 観光立県の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進に資するため、鹿児島県観光立県推進会議(以下「推進会議」という。)を設置する。

2 推進会議は、次に掲げる事務を行う。

(2) 知事の諮問に応じ、観光立県の実現に関する事項に関し、調査審議すること。

2

進行管理

条例に基づき、推進期間の中間年度を令和9年度、最終年度を令和11年度とし、それぞれの年度までの施策の実施状況及びその成果を取りまとめるとともに、これらを検証し、条例に基づく「鹿児島県観光立県推進会議」の意見を聴きながら、必要に応じて基本方針の見直しを行い、基本目標の実現を図ります。

(参考) 条例第9条抜粋

第9条 知事は、基本方針に定められた期間の中間年度及び最終年度における観光立県の実現に関する施策の実施状況及びその成果を取りまとめ、県議会に報告するとともに、これを公表しなければならない。